



令和5年度 学校経営方針

4月も、風のように過ぎてしまいましたが、授業参観・PTA 総会、家庭訪問等、保護者の皆様には大変お世話になりました。お陰様で、何とか無事に、令和5年度のスタートが切れたように思います。また、4/26の第1回学校運営協議会において、今年度の学校経営方針が承認されましたので、あらためて皆様にお示しさせていただきます。保護者の皆様におかれましては、11月の学校評価の際にもご参照いただけますよう、お願い申し上げます。

小野寺小キャラクター「にこちゃん」
(令和2年～)



1 学校教育目標

～自立と共生を目指して～

- 自分から進んで学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- 心身ともにたくましい子ども

2 目指す学校像～活力があり信頼される学校～

- 子どもが学ぶ喜びを感じ、わくわくしながら通う学校
- 教職員が互いに高め合い、協働する学校
- 学習環境が整備され、安全で美しい学校

3 目指す教師像 ～情熱・力量・人間力～

- 子どもへの愛情をもち、子どもと誠実に向き合う教師
- 確かな指導力と学び続ける向上心をもつ教師
- 豊かな人間性、社会性、教養を備えている教師

4 学校経営の基本方針

- (1) 「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指す。
- (2) 「全ては子どもたちのために」の理念の元、全教職員が協働して教育活動を推進する。
- (3) 自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師を目指し、資質・能力の向上を図る。
- (4) 人権教育を基盤とし、児童指導・特別支援教育の充実を目指す。
- (5) 保護者や地域と一体になった教育活動を推進し、地域とともにある学校を目指す。
- (6) 学校規模の特性と地域資源を生かし、一人ひとりが参画する本校ならではの教育課程を編成実施する。(学校課題の推進、学年行事の工夫)

(7) 「表現力の育成」と「ふるさと学習」を学校課題に盛り込み、具現化を図る。

【今年度の学校課題】

自分の思いや考えを表現する力を養う指導の工夫
～ふるさとを愛し誇れる児童の育成をめざしながら～

5 今年度の努力点

(1) 自分から進んで学ぶ子ども～確かな学力～

- ① 確かな学力の育成
 - ・主体的、対話的で深い学びの実現
 - ・目標と指導と評価の一体化
 - ・「とち介の学び」による授業改善
 - ・深い教材研究
 - ・一人一授業による授業改善
- ② 伝え合う力（コミュニケーション力）の育成
 - ・自分の考えを文章にまとめる
 - ・表現の場の設定
 - ・学びあいを通じた考えの深化
- ③ 地域を愛する心を育むふるさと学習の推進
 - ・とちぎ未来アシストネットとの連携
 - ・地域との連携
- ④ 家庭学習の習慣化
 - ・保護者との連携
 - ・家庭学習の時間の設定
- ⑤ 情報教育の充実
 - ・タブレットの活用による学習活動の充実
 - ・情報モラルの指導
 - ・プログラミング教育の推進



(2) 思いやりのある子ども～豊かな心～

- ① あいさつ・正しい言葉遣いの奨励
 - ・基本的生活習慣の徹底
 - ・家庭・地域との連携
- ② 生命・人権を尊重し、一人ひとりが認め合える学級経営
 - ・人権教育実践研究校(令和2～3)の実績を生かした人権教育の深化・拡充
 - ・自己肯定感を高める関わり
 - ・一人ひとりのよさを認め生かす関わり
 - ・花や野菜の栽培活動
- ③ 道徳教育の充実
 - ・道徳科の授業公開と保護者との連携
 - ・考え議論する道徳の授業の展開
- ④ 豊かな心の育成
 - ・音楽活動の推進（表現活動交流会）
 - ・読書活動（家庭との連携）
 - ・地域との連携



- ⑤異年齢集団や他校との連携による人間関係形成力の育成
 - ・異年齢によるグループ活動
 - ・幼・小・中・高・大との連携

(3) 心身ともにたくましい子ども～健やかな体～

- ①運動への意欲と体力の向上
 - ・外遊びの奨励
 - ・体育的行事の充実
 - ・運動量のある体育の授業
- ②健康の保持増進と望ましい生活習慣の育成
 - ・感染症への対策
 - ・食育の推進
 - ・外部講師を招いての指導
 - ・歯みがき指導（フッ化物洗口）
- ③安全指導・安全管理の徹底
 - ・自助・共助を目指した避難訓練の実施
 - ・登下校の安全指導
 - ・複数の目による安全点検の実施
 - ・地域との連携



(4) 特別支援教育・教育相談・児童指導の充実

- ①各種調査・アンケートの実施による実態把握と、早期発見・早期対応
- ②教職員間の情報の共有
- ③教育相談週間の実施
- ④すくすくシートの活用
- ⑤ユニバーサル・デザイン化と合理的配慮の推進
- ⑥保護者・関係機関との連携

(5) 「本校ならではの」教育活動の推進

- ①ふれあい学習を充実させ、地域を大切に作る児童を育成する。
 - ・ふるさと学習（生活科・総合的な学習の時間）
→ふるさとを愛し誇れる児童の育成
 - ・学校運営協議会やPTAとの連携
- ②地域とともにある学校づくりに努め、家庭や地域との連携を密にする。
 - ・自由に参観できる教育活動の推進（授業参観、学校公開日等）
 - ・情報公開（各種たよりやホームページ等）と学校評価
 - ・学校と地域の人的交流
（学校行事・とちぎ未来アシストネット等）
- ③岩舟ブロック小中一貫教育運営計画（第三期）の推進を図る。
 - ・三部会（学力向上・心の教育・健康安全部会）において、小中一貫教育の目指す子ども像を見据えた取組を計画的、組織的に進める。

【岩舟ブロック小中一貫教育 目指す子ども像】
理想を掲げ、自分らしく、たくましく未来を切り拓く子ども～自立と共生、自己実現のために～



ホームページでは、各行事のようすや小野寺っ子の元気な表情を「写真と記事」でお届けしています。ぜひご覧ください。

<災害対応マニュアル>

第1回学校運営協議会で、災害発生時の対応策について話題にいただきました。

災害の状況によって、判断も対応策も変わってくるので、結論は出ませんでした。話し合われた内容をお知らせします。

<江田より>

- ①火災の場合には、校庭南端に集合する。
（4/14の避難訓練のとおり）
- ②地震の場合には、校庭中央に集合する。
（一斉下校時の整列場所）
- ③避難可能な災害の場合には、校庭に集合した後、正門から出て坂を下り、学校南方の田んぼの方まで避難する。（災害の状況による）
- ④地震での避難の場合、校庭南側の階段は、盛土部分なので使用禁止とする。
- ⑤避難できず、孤立した場合に備えた対策も検討したい。（本校は災害避難所に指定されていないため、災害備蓄倉庫はない。）

<委員の皆様より>

- ①もちろん災害の状況にもよるが、地震の場合も含めて、無理に避難せず、子どもは学校にいたくれた方が安心できる。特に水害の場合は、周囲の道路や河川の方が危険である。
- ②携帯電話は不通になることが予想されるので、「さくら連絡網」を活用し、情報を流してほしい。
- ③水やかんばんなどの災害備蓄品を自費で保管することも一つの対応策だとは思いますが、保管場所の確保と管理等が難しいかもしれない。

学校では、登校途中、在校時、下校途中、それぞれの場合の「危機管理マニュアル」は用意されていますが、ご家庭でも、日頃から「こんな場合はこうする」ということを話題していただくことが大切だと思います。たとえ、結論が出なくても意識をもつことが重要ですね。

<PTA総会>

年度初めのお忙しい中、保護者の皆様には大変お世話になりました。お陰様で議事も滞りなく進みました。ご協力に感謝申し上げます。

末筆になってしまいましたが、旧役員の皆様、大変お世話になりました。新役員の皆様、1年間よろしく願い申し上げます。今年度は「大人も笑顔と元気」を前面に出していきたいと思えます。運動会では、熱い応援、もぐもぐタイムでのプチ一家団欒、紅白玉入れへの積極的参加をお願いいたします。また、親子学年事業では、親も子も夢中になれる&笑顔になれる&元気になれる企画をお願いいたします。保護者の皆様には、今年度も素敵なアイデアがありそうで楽しみです(▽)/

めぞう！ Onodera well-being!

今月はあえて文字だけにしてみました。繰り返しますが、行事写真はホームページをご覧ください。